

1 自己評価及び外部評価結果

【事業所概要(事業所記入)】

事業所番号	4773300050		
法人名	社会福祉法人 喜寿会		
事業所名	グループホーム美ら里さしき		
所在地	沖縄県南城市佐敷字屋比久44番地		
自己評価作成日	令和4年10月5日	評価結果市町村受理日	令和5年2月1日

※事業所の基本情報は、公表センターページで閲覧してください。(↓このURLをクリック)

基本情報リンク先	https://www.kaigokensaku.mhlw.go.jp/47/index.php?action=kouhyou_detail_022_kani=true&JigyosyoCd=4773300050-00&ServiceCd=320&Type=search
----------	---

【評価機関概要(評価機関記入)】

評価機関名	株式会社 沖縄タイム・エージェント		
所在地	沖縄県那覇市上之屋1-18-15 アイワテラス2階		
訪問調査日	令和4年 11月17日		

【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点(事業所記入)】

・新型コロナウイルス感染拡大防止対策と入居者・職員の体調管理に努めている。
 ・コロナ禍で、外出活動制限の中、日常的な活動として、ホーム周辺の散歩・玄関先での外気浴・テレビ体操で下肢筋力低下防止を図るとともに、外出する機会が減少しても楽しみのある生活が送れるよう支援に努めています。

【外部評価で確認した事業所の優れている点、工夫点(評価機関記入)】

開設して18年経過した当事業所は静かな集落の場所にあり、自治会からも近く、地域との交流や行事にも参加されていたがコロナ感染症の予防にて地域の行事が開催されていない。しかし、近隣住民からの野菜の差し入れ・家族・友人の玄関先や庭先・窓からの面会で地域交流を継続している。利用者への支援として、コロナ禍においても外出や散歩の時間作りを行い、感染予防をしながら利用者の意向を実行しようと努力している。
 マニュアルの整備がされ、いつでも職員が使いやすい場所に保管がされ、実用的に使用ができるように抜粋した内容を台所やセンサー確認音の部分へぶら下げる事でいつでも、誰でも確認できるように工夫されている。
 市町村担当との連絡をラインを使用することで密な連絡や相談しやすいように工夫されている。

V. サービスの成果に関する項目(アウトカム項目) ※項目No.1~55で日頃の取り組みを自己点検したうえで、成果について自己評価します

項目	取り組みの成果 ↓該当するものに○印	項目	取り組みの成果 ↓該当するものに○印
56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる (参考項目:23,24,25)	63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができている (参考項目:9,10,19)
57	利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある (参考項目:18,38)	64	グループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている (参考項目:2,20)
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている (参考項目:38)	65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりが拡がったり、深まり、事業所の理解者や応援者が増えている (参考項目:4)
59	利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿がみられている (参考項目:36,37)	66	職員は、活き活きと働いている (参考項目:11,12)
60	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている (参考項目:49)	67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う
61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている (参考項目:30,31)	68	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う
62	利用者は、その時々々の状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らせている (参考項目:28)		

自己評価および外部評価結果

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
I.理念に基づく運営					
1	(1)	○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義をふまえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている	①毎週月曜日に「理念」唱和理念に沿った支援に努めている。	開所当初につくった理念、「その人らしい生活」、「個々の生活リズム」、「地域とのつながりのある生活」を毎週月曜日に唱和し、利用者に寄り添い、地域とのつながりを大切にする事を基本に取り組んでいる。また、ケアに迷った際は基本に戻ることができるように意識している。	
2	(2)	○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している	①昨年より地域の方から果物や野菜頂くこと増えている。 ②地域の大型商店へ食材買い出し継続	昨年は新型コロナウイルスによる影響のため、近隣の方との交流は少なかったが、今年はパパイヤやニラ、バナナ等の野菜や果物の提供があり徐々に交流する機会ができてきている。1か月に1回、近隣にある丸大へ利用者と一緒に食材の買い出しを継続して行っている。	
3		○事業所の力を活かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて活かしている	①令和2年4月～新型コロナウイルス感染防止の観点から活動休止。		
4	(3)	○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	①令和元年3月～新型コロナウイルス感染防止の観点から活動報告と活動報告への意見書を運営推進委員へ郵送。FAXで頂いた活動報告への意見を運営に反映させている。	運営推進会議の開催は新型コロナウイルス感染防止のため書面での開催を行っている。入居者代表、南城市生きがい推進課、民生員、他グループホーム3事業所の管理者が推進員となっている。毎回、活動報告と意見書を委員へ郵送し、FAXでの意見の返事を頂き、記録に残している。	
5	(4)	○市町村との連携 市町村担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取り組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くように取り組んでいる	①入居者・職員の新型コロナワクチン接種に伴う調整連絡を密にとり協力体制を築きました。 ②市職員とスマホラインで連絡体制を整えています。	南城市担当の職員と連絡ツールのLINEを使用し、定期的に連絡を行っている。介護の日ということで、南城市から施設で作った作品の展示依頼があり、作成していたものを展示することになった。コロナ感染症による蔓延にて施設利用者や職員に感染者がでてしまった際には南城市と連絡を取り合い、消毒用アルコールやマスクの提供があった。また、状況確認の連絡や励ましの言葉もあった。	

自己評価および外部評価結果

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
6	(5)	○身体拘束をしないケアの実践 代表者及び全ての職員が「指定地域密着型サービス指定基準及び指定地域密着型介護予防サービス指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる	①玄関鍵を7時～18時まで施錠なし。 外出を止めるのではなく、玄関外のベンチで談話する支援行っている。 ②3月・5月・7月・9月・11月・1月に身体拘束適正化委員会をホーム職員で行い身体拘束・言葉での拘束がないか確認行っている	身体拘束をしないケアを実践するために方針とマニュアルが作成されており、日頃から管理者は身体拘束をしない、させないように注意喚起を行っている。身体拘束適正化委員会を事業所内に設置し、3ヶ月に1回行い、身体拘束について話し合い、記録に残している。	身体拘束等の適正化のための研修が未実施。定期的な実施が望まれる。
7	(6)	○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止関連法について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	①沖縄県認知症グループホーム協会主催の研修へ職員派遣行い学ぶ機会を得ている ②ケアにおいて職員が生き詰まっていないか面談で確認。アドバイスや虐待について話そう努めている。	沖縄県認知症グループホーム協会主催の研修に参加し、研修内容を職員と共有し、ケアに活かしている。 高齢者虐待防止マニュアルが整備されており、日々の支援が適切であったか、どのような行為が虐待につながるかを職員間で意識し合いながら、虐待の防止の徹底に取り組んでいる。	
8		○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している	①権利擁護・成年後見人制度についての勉強会未実施。 ②各職員の自己学習にとどまっている。		
9		○契約に関する説明と納得 契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	①契約締結、契約終了時には家族さまへ分かりやすく説明することを心掛けている ②疑問点については十分に説明行い納得頂けるよう努めている。		
10	(7)	○運営に関する利用者、家族等意見の反映 利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	①定期受診時や定期薬持参時に家族からの意見・要望を聴くように努めている。	利用者からの要望により、奥武島へドライブに行き天ぷらを食べたり、買い物へ行く等を行っている。また、定期受診、薬の持参時には家族から要望を確認し、出来る限り対応ができるようにしている。	

自己評価および外部評価結果

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
11	(8)	○運営に関する職員意見の反映 代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	①職員の意見や提案を聴く姿勢に努め、行意見・提案を運営・ケアに生かしている。	日常的に職員からの要望を聞くように心がけ、意欲向上に繋げられるように聞く姿勢をもち、法人に相談している。最近では空気清浄機の購入を行うことで感染予防と働きやすい環境を心掛けている。	
12	(9)	○就業環境の整備 代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている	①残業「0」の実施。 ②資格取得に応じて給与改善でやりがいをもち働けるよう環境整備に務めている。	残業0の実施を行い、介護福祉士を目指せるように資格取得の研修や給与の改善を行っており、職員の意欲向上に繋げている。勤務体制における有休や希望休についても希望を取り出来る限り優先的に対応している。指導の中において、ハラスメントにならないように意識している。	
13		○職員を育てる取り組み 代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	①職員1名、法人内事業所へ3か月間、研修派遣。 ②法人内事業所から職員1名、研修受け入れ中。他事業所の業務学ぶ機会得ている		
14		○同業者との交流を通じた向上 代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会を作り、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	①令和元年3月～新型コロナウイルス感染防止の観点から交流の機会なく、南城市の3箇所のGH管理者と運営推進会議活動報告・意見書でサービスの質向上を図っている。		
II.安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
15		○初期に築く本人との信頼関係 サービスを導入する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている	①現在の介護で困っていることや不安になっていることの話しを聴いた上で、当ホームのサービス内容の説明を行うようにしている。		

自己評価および外部評価結果

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
16		○初期に築く家族等との信頼関係 サービスを導入する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている	①困っていること、不安なこと要望等を傾聴し入居後のサービスについて説明行っている。 ②要望に添えないサービスについては安易に承諾せず説明・納得した上でサービス導入に努めている。		
17		○初期対応の見極めと支援 サービスを導入する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	①医療的支援が必要と判断した時は、他のサービスの説明行い「その時」必要としている支援に繋がられるよう努めている。 ②他のサービスを希望される家族さまへはインフォーマルサービス説明行っている。		
18		○本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている	①ADL、諸活動において一人ひとり出来ること行っています。 ②洗濯物ほい等で干し方に困っている入居者へ干し方を教え一緒に行う場面多く見られる。		
19		○本人と共に支えあう家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場におかず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている	①新型コロナウイルスワクチン集団接種付き添いを可能な家族様へ協力して頂きました。 家族と共に入居者さまを支えることができました。		
20	(10)	○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	①新型コロナウイルス感染防止策で面会時間予約なしでリビング窓越しからの面会継続。	コロナウイルス感染防止のためリビングの窓越しから面会を行っている。なじみの方や友達、家族との交流が不定期にあり、面会時間予約なしでの対応を行っている。	

自己評価および外部評価結果

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
21		○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている	①入居者一人ひとりの性格、相性把握に努めトラブル回避、フォロー行うとともに、家事・余暇活動・散歩・外気浴等の活動を通して、入居者同士が関わり、支えあえる関係作りに努めている。		
22		○関係を断ち切らない取組み サービス利用(契約)が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている	①退去6年程前、退去された家族様から、食器の提供がありました。		
Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
23	(11)	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	①日々の生活の中で入居者の曜日把握に努めている。 ②申し送り等での情報を共有しながら可能な限り要望に添えるよう支援方法を話し合い実現に努めている。	個別の対応時やケアプラン作成時に思いや意向を把握し、行きたい場所や食べたい物等、個別のケアに反映させている。入居者から意思の把握が困難な時には、家族から情報を確認したり、本人の表情や身振りからくみ取っている。申し送りで職員間での共有を行っている。	
24		○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	①サービス開始時、生活歴・生活環境等を把握した上で、今までの生活環境に近い状態でのサービス開始に努めている。		
25		○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている	①食事・排便・バイタルで心身状態の把握に努めている。 ②日報で身体状態を記し、ケース記録には11日の過ごし方を記載している。		

自己評価および外部評価結果

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
26	(12)	○チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している	①家族の要望、アセスメントを基に介護計画書作成。 ②3ヶ月に1回のモニタリングで計画に沿った支援の確認行い、状態、ニーズに応じたサービスを見直し、介護計画を作成している。	基本は3か月に1回のモニタリングを経て、計画書への意向を家族と共に要望を確認し、介護計画書を作成している。長期目標は12か月、短期目標は6か月で作成され、身体状況に変化のある時には、その都度計画書の見直しを行っている。最近では歯の状況が変わっている利用者の計画を変更し、食事形態や一部介助について相談した。	
27		○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	①各入居者のケース記録に日々の様子やケアの実践等を記載。 ②ケアの中での気づきを申し送り検討後、ケア実践に繋げている、。		
28		○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化 本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる	①新型コロナウィルス感染防止で外出支援制限の中、天気が良い日は玄関先で入居者全員、外気浴実施。 ③時に玄関先でのお茶タイムでカフェ気分を味わっている。		
29		○地域資源との協働 一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している	①2か月に1回の訪問カット心待ちにしている入居者いらっしゃる。		
30	(13)	○かかりつけ医の受診支援 受診は、本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	①主治医への情報提供書で状態を伝え適切な医療が受けられるよう支援している。	入居後も、本人が今まで通院していたかかりつけ医や希望の病院へ受診している。病院受診は家族で対応している。事業所から主治医への本人の日頃の様子や変化を伝える情報提供書を作成し、病院受診に付添う家族へ預けている。7月に事業所がクラスターになったこともあり受診後は、三日間の空間隔離をして、感染対策の徹底に取り組んでいる。	

自己評価および外部評価結果

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
31		○看護職との協働 介護職は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している	①受診後の情報提供経過観察等を看護ケース記録に記載し情報伝達に行っている ②看護職の気づきを看護記録に記載。気づきに沿った対応行っている。 ③現在、訪問看護、訪問歯科の受け入れ行っていない必要に応じて対応行う。		
32		○入退院時の医療機関との協働 利用者が入院した際、安心して治療できるように、又、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。あるいは、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。	①入院時には介護サマリー提示。 ②退院前にはケースワーカーからの経過報告・情報交換で退院に向けての連携図っている。		
33	(14)	○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援 重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所のできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる	①重度化や終末期に向けた方針を、契約時に文書で説明。事業所のできること・家族の協力等の悦明行っている。	終末期に向けた支援について、看取り介護の指針と重度化対応に関する指針、急変時における対応に関する同意書が作成されている。入居時に本人と家族に説明、また本人の状態の変化時にも家族へ説明と確認をその都度行い、本人と家族の希望する支援に取り組んでいる。	
34	(15)	○急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている	①急変時の対応マニュアルに沿ってオンコール者への連絡・初期対応(応急処置含む)救急搬送・家族への連絡方法をシュミレーションでしている。	事故発生時マニュアルあり。急変や事故発生時の対応に必要な書類を緊急時持ち出しファイルとして利用者毎に準備されており、すべての職員が対応できるように連絡体制マニュアルも整備されている。事故発生報告書やヒヤリハット発生時は、職員間で情報共有することができており、再発防止に努めている。	
35	(16)	○災害や感染対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている。又、感染症の予防やまん延防止の為に委員会の開催や指針を整備し、研修及び訓練を定期的実施している。	①火災・地震・水害の避難誘導シュミレーション訓練実施。 ②感染症予防、指針整備中	年2回昼夜を想定した訓練を職員と利用者が一緒に行い、避難場所、避難経路を確認し、避難誘導がスムーズにできるようにマニュアルを作成している。市が作成している防災マップも職員間で情報共有している。災害マニュアルと感染症対策マニュアルも整備されており、両方の業務継続計画も作成されている。	

自己評価および外部評価結果

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
36	(17)	○一人ひとりの人格の尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	①中核症状から起こる行動に誇りを損なわない言葉かけや対応に努めている。	入居時に利用者と家族へ個人情報取り扱いに関する説明を行い、同意をもらっている。職員も入職時に、秘密保持契約について法人から説明を受け、守秘義務について十分に理解し、取り扱いと管理を徹底している。日々のケアの中で本人の気持や希望を大切に考え、本人の残存機能を維持しながらできることを維持できるように取り組んでいる。	
37		○利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている	①会話の中で要望や思いを引き出すよう努めている。 ②生活全般支援において返答をすぐ求めず、待つ姿勢で自己決定できるように働きかけている。		
38		○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切にし、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	①入居者からの要望や、その日をどう過ごしたいか、入居者と相談しながら希望に添えるよう支援に努めている。		
39		○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している	①衣類の汚れ・ほつれ・ボタン外れがないか確認。交換・修繕に努めている。		
40	(18)	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	①入居者一人ひとり咀嚼・嚥下に応じた食事形態(ミキサー・刻み)提供。 ②入居者分の「お盆拭き」毎食、手伝って下さる入居者の方おられる。	事業所で3食、職員の手作りで食事を提供している。事業所の畑で収穫した野菜や地域の人からの差し入れの野菜を使うこともある。利用者からのリクエストメニューも取り入れている。コロナの感染予防対策により、職員は利用者と一緒に食事を楽しむことはできない状況であるが、おやつ会を計画して、利用者と職員と一緒に楽しむことができる場をつくっている。	

自己評価および外部評価結果

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
41		○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	①職員にてバランスを考えた週単位の献立表作成。栄養バランスを考え調理している。 ②10時茶の時間は豆乳コーヒーや豆乳フルーツ提供。「ほっ」とできる時間を大切にしている。		
42		○口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないよう、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	①毎食後、居室内洗面台かリビング洗面台で口腔ケア。自力・介助に応じて歯磨き(義歯洗い)うがい実施。 ②水分でむせる方は口腔ケアティッシュ使用。		
43	(19)	○排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立にむけた支援を行っている	①トイレ時の着衣動作も一人ひとりの力に合わせて対応。 ②「オムツして下の世話されるぐらいなら生きていても仕方ない」と身体きつくてもトイレで排泄したい希望に応じている。自力で行うことが生きがいになっていると考える。	入居時にアセスメントの中で、排泄パターンを確認して、一人ひとりに合わせて排泄ができるように対応している。リハビリパンツから布パンツに移行できた利用者もあり、排泄の自立に向けた支援に取り組んでいる。	
44		○便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる	①1日の献立の中にヨーグルトを取り入れている。また芋も提供している。 ②毎日のテレビ体操実施 それでも便秘ある時は、プルーンジュース提供や芋を多めに提供で便秘解消にと取り組んでいる。		
45	(20)	○入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めてしまわずに、個々にそった支援をしている	①一人ひとりに応じた入浴声かけに努めている。 ②入浴断りがあるときは時間を開け再度、声かけ行い気持ちよく入浴出来るよう支援に努めている。	入浴は週3回となっているが、本人の希望に応じて入浴日の変更や時間帯は臨機応変に対応している。脱衣所はカーテンで仕切りをつくり、温度調節ができるように扇風機や暖房設備等も設置している。入浴を拒む人に対しては、言葉かけの工夫や職員間で連携した対応で利用者に合わせて入浴支援を行っている。	

自己評価および外部評価結果

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
46		○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々の状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	①介助が必要な方は臥床時間や要望に応じて居室内で休息できるよう支援。 ②歩行自立の方は要望に応じて廊下散歩や居室で休める環境にある		
47	(21)	○服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	①記録物に入居者一人ひとりの内服薬表を綴り、職員がいつでも確認できる体制にある。 定期受診後、薬変更ある場合、連絡帳で全職員へ周知。 ③日頃の状態(ADL)を定期受診時に情報提供書で主治医へ状態報告実施。	マニュアルを作成し、全職員が薬の内容を把握できるようにファイルに保管し、いつでも確認できるようにしている。与薬の準備は、管理者と正職員でセットしたものから、夜勤者が1日分をケースにセット。当日の服薬支援担当者が毎食ごとにキッチンポケットへセットし、服薬後の薬包は所定の場所へ集めて確認後、指定のごみ箱へ破棄している。	
48		○役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	①洗濯物干し(たたみ)お盆拭きの役割がある。 ②天気が良い日は、玄関先外気浴で気分転換図っている。		
49	(22)	○日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。又、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している	①新型コロナウイルス感染防止のため受診以外、家族との外出制限している。 ②現在、玄関先での外気浴で戸外外出行っている。	コロナ感染予防のため、事業所内で過ごすことも多かったため、利用者一人一人の楽しみとなるように、ベランダでの外気浴や近隣への散歩、奥武島や海へのドライブなど希望に合わせて支援している。病院受診時には、家族と一緒に外食や買い物等を楽しむことができる時間をつくることのできるようにしている。	
50		○お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	①全入居者、お金所持なし ②家族から「小遣い」にとお金預かりで嗜好品購入や訪問カットでのカット代に充てている。		

自己評価および外部評価結果

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
51		○電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	①入居者1名、家族持参のタブレットでテレビ電話で通話することあったが、現在、入居者と家族との電話通話ありません。		
52	(23)	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激(音、光、色、広さ、温度など)がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	①トイレの表示、各居室入り口には居室内が見えにくいよう防炎カーテン設置。 ②玄関棚に観賞魚鑑賞できる空間作りと採光眩しい時はテレビが見えやすいようリビングカーテン閉め実際。	コロナの感染予防対策のため、共用空間の換気と次亜塩素酸水による空間除菌を24時間行っている。季節に合わせた作品づくりをして、利用者と職員で飾りつけなども一緒に作り、居心地の良い雰囲気となっている。利用者がたたみ間やソファで自宅のようにくつろぐことができるように工夫している。	
53		○共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	①リビングソファに腰掛けたり玄関先にあるベンチで外眺めたり思い思いに過ごせる場所の工夫行っている。		
54	(24)	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	①居室壁に貼った家族写真や孫からのプレゼントを日常的に眺める入居者さまいらっしゃいます。	各居室内もコロナ感染予防対策のための換気と次亜塩素酸水による空間除菌を時間を決めて定期的に行っている。利用者が居心地よく過ごせるように、使い慣れた家具の持ち込みや家族からプレゼントされた千羽鶴や家族写真が飾られている。	
55		○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの「できること」「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	①トイレ表示や居室ドアに花飾りを飾り、迷うことなく自力で行き来できる支援実施。 ②つまづかない、ぶつからない環境整備を行い自立した生活が送れるよう支援行っている。		

目標達成計画

作成日: 令和 5年 1月 13日

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。
目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	6	身体拘束等の適正化のための研修が未実施。 定期的な研修が望まれる。	全職員、定期的な研修実施と研修時間確保を行う。	①15分程のネット動画研修資料で1名ずつ 研修に取り組む ②研修終了後、研修報告書で研修報告を行う	6ヶ月
2					ヶ月
3					ヶ月
4					ヶ月
5					ヶ月

注) 項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。